

神戸港湾空港技術調査事務所におけるSDGsの取組について

私ども神戸港湾空港技術調査事務所では、以下の取り組みをはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、近畿地方整備局管内の港湾・空港・海岸・環境整備等の事業を技術的にサポートすることを通じ、「経済好循環の加速・拡大」、「国民の安全・安心の確保」、「豊かで活力ある地方創り」に貢献して参ります。



港湾におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組

浚渫土を固化することで浚渫土に含まれる有機体炭素の分解を抑制し、その固化体の有効利用により固化体内に有機体炭素を貯留し、二酸化炭素排出量を削減する取り組みや天然石に替わる材料及び副産物を利用した低炭素コンクリートの開発による二酸化炭素排出量を削減する取り組みをしています。また、リサイクル骨材を用いたコンクリートの適用性の検討も進めています。今後も引き続き、排出削減だけでなく、吸収拡大に向けての大型藻類の付着活性化に関しても取り組みを進めていきます。

例) 固化浚渫土(カルシア改質土)の裏埋土利用



大阪湾生き物一斉調査の実施

「大阪湾再生行動計画」の取り組みの一つとして、大阪湾の環境へ関心を持っていただくため、大阪湾沿岸で環境活動に取り組んでいるNPO等の地域の様々な団体と一緒に、大阪湾沿岸各地で生き物の種類、貴重種の出現状況等の調査を年1回実施しています。分かりやすい指標(生き物)により調査を行うことで、美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」の回復へ向けて気運の醸成を図っていきます。

【目標】1回/年開催



大阪湾フォーラムの開催

大阪湾沿岸で活動するNPO等と連携して、「大阪湾フォーラム」を開催しています。大阪湾の沿岸域で活動されている市民団体や博物館、学生、行政機関等が参加し、大阪湾の環境再生に関する取り組みの紹介、情報や意見の交換を行っています。また、継続的に交流を行うことで、大阪湾の環境再生をめざす人たちによるネットワークの拡大を図り、連携が深まっていくことを期待しています。

【目標】1回/年開催

